

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体 藤山地区自主防災会

事業名	1	地域防災強化事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	145,190 円		助成金充当額	83,100 円
事業対象者	自主防災会 藤山小・中学校 他		参加人数	464名
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・厚東川水系洪水ハザードマップ研修会 ・藤山中学校区防災訓練			
事業目標	・厚東川水系洪水ハザードマップ更新 ・藤山小・中学校、地域住民との合同避難訓練による地域の防災意識向上			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	・研修会参加人数		3 5 名	2 3 名
	・防災訓練参加人数		1 0 0 0 名	9 4 5 名
事業効果	(達成できた、又は、できなかった要因) ・令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮しながら各事業に対して参加者を募るにも制限があり、一部対象者しか参加できなかったのが今後の課題。			
今後の課題等	・研修会では、避難場所や避難経路等で多くの質疑応答で協議され、個人が自主防災に もっと関心を持つよう学んだ。 ・防災訓練では、小、中学生の避難行動に感心した。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		①	2 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	② 3
	多くの住民の参加が得られましたか		①	2 3
	今後も事業継続できますか		1 2	③

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体

藤山地区老人クラブ連合会

事業名	2	健康づくり事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	218,369 円		助成金充当額	176,220 円
事業対象者	藤山地区内 6 5 歳以上		参加人数	2 0 8 名
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) 1 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各行事が中止となった中で、屋内で可能な健康体操や高年者学級への参加を促進した。 2 健康体操の実施、高年者学級への助勢			
事業目標	1 宇部市スポーツ大会中止 2 藤山地区老人スポーツ大会中止			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	高年者学級		1 0 0 名	2 0 8 名
	(達成できた、又は、できなかった要因) 1 新型コロナウイルス感染拡大の為、屋内事業を中心としたが、対象者に高齢者が多いため、活動を自粛した。			
事業効果	1 高齢者の健康づくりに一定の成果を残した。			
今後の課題等	1 藤山地区は高齢化が進行しており、参加者は限定的である。 2 P R 不足の面があり、藤山地区にどのようにして浸透させるかが課題である。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 (3)
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 (3)
	多くの住民の参加が得られましたか		1	(2) 3
	今後も事業継続できますか		1	2 (3)

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体

宇部市立藤山小学校

事業名	3	小中学校連携事業	
事業期間	令和3年4月～令和4年3月		
決算額	20,000 円	助成金充当額	20,000 円
事業対象者	宇部市立藤山小学校	参加人数	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・学校、家庭、地域の協働的な取組の充実 ・コミュニティスクール連絡体制の充実		
事業目標	学校教育目標「『楽しさ』あふれる藤山小学校」の達成		
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績
	学校が楽しいと感じている児童の割合 増加（学校評価）	80%	7 月： 8 4 % 1 2 月： 8 6 %
	(達成できた、又は、できなかった要因) コロナ禍でも、地域の方や保護者の協力を得ながら、学校の取組を実施する事ができた。		
事業効果	・ R 4 年度の開校 1 5 0 周年に向けてマスコットキャラクター作成や寄付金集めなど、 コミュニティスクールの取組に対して、隣の高校や地域の方などから多くの支援が得られた。 ・ 拡大学校運営協議会において、委員から提案のあったドッチビー体験会を実施できた。 鵜ノ島小学校と藤山小学校の児童が参加し、藤山中学校の地域元気応援隊の生徒が運営を 支援したことで、児童・生徒の交流を深めることができた。		
今後の課題等	学校運営協議会に児童を直接参加させ、コミュニティ・スクールの取組の活性化を図ると共に、 地域を元気にしていく必要がある。		
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2 3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2 3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2 3
	今後も事業継続できますか	1	2 3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体

藤山中学校学校運営協議会

事業名	3	小中学校連携事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	10,000 円		助成金充当額	10,000 円
事業対象者	宇部市立藤山中学校		参加人数	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・コミュニティスクール（地域とともにある学校づくり）の充実 ・学校ボランティアの活用推進 ・地域と学校の協働的な取組の充実			
事業目標	・地域ボランティア活動の充実			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	地域ボランティア活動参加人数		100人	95人
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・新型コロナウイルス感染拡大により、中止となった活動が多かった為			
事業効果	・子どもたちの郷土愛が高まった ・地域の活性化につながった			
今後の課題等	・地域とのつながりをより深めていくためにも、地域コミュニティの方々との連携をより高めて行くことが必要			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2 3
	今後も事業継続できますか		1	2 3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体 藤山地区社会福祉協議会

事業名	4	社会福祉事業	
事業期間	令和3年4月～令和4年3月		
決算額	732,700 円	助成金充当額	354,700 円
事業対象者	藤山地区住民	参加人数	2,340名
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・ 敬老の日記念事業への助成 記念品の配布 1,830名 ・ 80歳以上の高齢者世帯への弁当の配布 420名 ・ 藤山小学校新入生に入学記念品を贈与 90名		
事業目標			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績
	敬老会参加人数 弁当を配布する高齢者数 藤山小学校入学児童数	340名 420名 90名	中止 420名 90名
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・ 敬老会は新型コロナウィルス感染症拡大防止のため開催を中止した。 ・ 高齢者世帯への弁当の配布、新入生への記念品の配布は実施した。		
事業効果	何らかの支援を必要とする人たちに対し、近所に住む住民が支えることで、誰もが住みよい地域となっていく。		
今後の課題等	地域での福祉活動等に関心を持っている方は多くいるが、再雇用制度の活用などにより高齢になるまで働き続ける方が増えており、退職後に地域でボランティア活動等に積極的に取り組もうとする方は少ない。		
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	1	2 3
	助成金を有効に活用できましたか	1	2 3
	多くの住民の参加が得られましたか	1	2 3
	今後も事業継続できますか	1	2 3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体 藤山地区
コミュニティ運営協議会

事業名	5	コミュニティ運営事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	829,148 円		助成金充当額	556,487 円
事業対象者	藤山地区民		参加人数	1,183人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策 ・藤山だより発行（毎月発行） ・藤山ふるさとまつり（規模を縮小して実施）872人 ・輪飾りづくり 32人		・地区運動会（中止） ・館内Wi-Fi環境整備 ・ウォーキングラリー 69人 ・さくらまつり代替行事（岩鼻公園のさくらと自然にふれあうつどい）210人	
事業目標	・新型コロナウイルス感染拡大の影響を見ながら、実施可能な事業を行う。			
	数値目標	令和3年目標	令和3年実績	
	6事業	6事業	5事業	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・新型コロナウイルス感染拡大の為、活動が制限された中で、感染対策をとりながら従来行事から規模を縮小したり、形を変えたり等の工夫をする事で対応した。 ・センターのデジタル化を推進する環境を整えた。			
事業効果	(事業の実施により、どのような効果が得られたか) ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、今年度の地区行事の多くが中止となったが、それでも「コロナ禍における地区行事の実施を」と、地区民の熱意が感じられる1年だった。 ・センター内のITインフラ整備を進め、来年度以降への弾みがついた。			
今後の課題等	・ITインフラ利用の為の運用ルール整備。 ・地域活動関係者の育成及び現地域活動役員の負担の軽減。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2 3
	今後も事業継続できますか		1	2 3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体 藤山地区体育振興会

事業名	6	体育振興事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	283,461 円		助成金充当額	183,980 円
事業対象者	藤山地区住民		参加人数	競技 350人 会議 200人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・300オソフトボール大会 5チーム参加 ・藤山ソフトバレーボール大会, ソフトバレー地区予選, ソフトボール地区予選 中止 代替行事として「あなたの散歩を応援します」2回と「歩き方教室」1回			
事業目標	コロナ禍で中止の事業を代替事業に切り替えで対応			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	60%		100%	80%
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・新型コロナウイルス感染拡大により大会を中止せざるを得なかった。			
事業効果	300オソフト 100名 試合開始時間を決めて分散集合 中止事業の代替行事の「散歩応援」は、延べ100名が参加。散歩に変更したことで、高齢者の参加が増えた。			
今後の課題等	市大会は、ソフトボール, バレーボールで予選会には主に若い人が参加するが、運動の苦手な人やシニア世代の参加が少ない。これを考慮してゲーム性の高い競技を企画すると、運動好きの人の参加が減る。 今後は、運動向きとゲーム性の高いスポーツを分けて計画をたてる等の工夫をする。			
自己評価 (3段階評価) 1: 不十分 2: 効果的 3: 非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2 3
	今後も事業継続できますか		1	2 3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体 宇部交通安全協会
藤山分会

事業名	7	交通安全事業			
事業期間	令和3年4月～令和4年3月				
決算額	177,000 円		助成金充当額	131,600 円	
事業対象者	藤山地区住民		参加人数	約500人	
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・交通安全週間の早朝立哨 ・藤山小入学式の手伝い（通学路の確認と記念品贈呈） ・小学1年生、4年生 交通指導と自転車教室 ・藤山地区コミュニティ行事（ふるさとまつり）の交通整理				
事業目標	・新型コロナウイルス感染拡大の状況を把握しながら、実施可能な事業を行う。				
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績	
	6事業		6事業	4事業	
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・コロナ禍にも関わらず早朝立哨には、役員はもとより地区住民の多数の協力をいただいた。 ・現在安全協会の会議が全て中止となっているが、分会活動は役員の協力を得て従来に近い形で活動できた。				
事業効果	・コミ主催のふるさとまつりの交通整理は、予定通り滞りなく遂行できた。				
今後の課題等	・コロナ禍の状況下でも可能な少人数での活動（講演等）を、安全協会と警察に働きかける。				
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		①	2	3
	助成金を有効に活用できましたか		1	②	3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2	③
	今後も事業継続できますか		1	②	3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体 藤山地区
子ども会育成連絡協議会

事業名	8	子ども会連絡協議会事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	163,916 円		助成金充当額	72,236 円
事業対象者	藤山小学校子ども会会員及び 会員外希望者		参加人数	70名
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・宇部市子ども会ドッチビー大会参加 R 3 年 1 1 月 2 1 日 ・藤山小・鶴の島小ドッチビー研修会 R 3 年 1 2 月 2 6 日 ・6年生（子ども会会員）屋外研修会（いちご狩り） R 3 年 1 2 月 2 7 日			
事業目標	・新型コロナウイルス感染拡大の影響を見ながら、実施可能な事業を行う。			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	5事業		4事業	3事業
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・新型コロナウイルス感染拡大の為、活動が制限された。			
事業効果	・コロナ禍の状況下にあったにも関わらず、児童の健全な成長に一定の効果が得られた。			
今後の課題等	・子ども会会員以外にも参加を促してはいるが、少子化の影響もあり、参加人数は減少している。 学校や市子連と協力し、新しい形が成立するように手探りしている。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 ③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 ③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	② 3
	今後も事業継続できますか		1	2 ③

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体 藤山地区
人権教育推進委員協議会

事業名	9	人権教育推進事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	65,000 円		助成金充当額	35,500 円
事業対象者	藤山地区民		参加人数	221人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・人権学習会（学童2回，地区2回） ・人権教育推進大会中止の為、代替として小中学生の作文と標語を掲載した「人権だより」を発行し、全戸配布した			
事業目標	・新型コロナウイルス感染拡大の影響を見ながら、実施可能な事業を行う。			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	7事業		7事業	5事業
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・新型コロナウイルス感染拡大の為、活動が制限された。 ・コロナ禍の中で、人権学習会が4回実施。			
事業効果	・コロナ禍での活動であったが、学童，地区内での学習会への参加により、人権意識の高揚、差別のない地域づくりに成果はあったと思われる。			
今後の課題等	・地区学習会への参加者減少のため、次年度より49自治会の自治会長さんへ、各自治会より2名程度の参加者を募る呼びかけを行っていただく依頼を自治連に行い賛同を得た。 ・毎年地区学習会と推進大会の参加者を募る為、資料を全戸配布している。その印刷代と費用が多くかかる。 ・親子学習会は子ども会行事が無くなったため、開催できなくなった。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2 3
	今後も事業継続できますか		1	2 3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体 藤山地区
防犯指導員連絡協議会

事業名	10	地域防犯強化事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	71,214 円		助成金充当額	44,300 円
事業対象者	藤山地区民		参加人数	100人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・全国防犯月間での放置自転車一斉点検及び調査 ・挨拶運動（藤山中学校の正門及び西門） ・無人駅の岩鼻駅・居能駅での自転車の施錠点検及び一声挨拶運動 ・子ども見守りパトロールの実施			
事業目標	・新型コロナウイルス感染拡大の影響を見ながら、実施可能な事業を行う。			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	5事業		5事業	5事業
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・新型コロナウイルス感染拡大の為、活動が制限された中でも防犯活動を行う事ができた。			
事業効果	・コロナ禍での活動であったが、学童，地区内での学習会への参加により、人権意識の高揚、差別のない地域づくりに成果はあったと思われる。			
今後の課題等	・地区学習会への参加者減少のため、次年度より49自治会の自治会長さんへ、各自治会より2名程度の参加者を募る呼びかけを行っていただく依頼を自治連に行い賛同を得た。 ・毎年地区学習会と推進大会の参加者を募る為、資料を全戸配布している。その印刷代と費用が多くかかる。 ・親子学習会は子ども会行事が無くなったため、開催できなくなった。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 3
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 3
	多くの住民の参加が得られましたか		1	2 3
	今後も事業継続できますか		1	2 3

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体 宇部市環境衛生連合会
藤山支部

事業名	11	生活環境・保健衛生向上事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	385,307 円		助成金充当額	180,197 円
事業対象者	藤山地区民		参加人数	381人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・岩鼻公園清掃作業実施 令和3年11月、令和4年3月 ・全市一斉空き缶等回収作業実施 令和3年7月、10月 ・厚東川清掃作業実施 令和3年10月30日 ・支部研修会実施 令和3年11月8日 美祢市廃棄物センター視察			
事業目標	・新型コロナウイルス感染拡大の影響を見ながら、実施可能な事業を行う。			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	450人		410人	381人
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・コロナ禍の中にあって、感染拡大防止を意識した取組みのもと各事業を実施し、環境衛生の向上に貢献する事ができた。 ・一方で、野外活動が中心である為、天候等の不具合により実施困難な面もある。			
事業効果	・岩鼻公園清掃及び空き缶回収作業は長年の歴史があり、地域住民の理解と関心が高く、常に一定程度の参加が得られるなど、地域に根付いた環境美化活動となっている。 ・厚東川清掃作業は、取組みを開始してから3年目であるが、近年プラスチック公害が叫ばれている中、『地域で出来る事は率先してやろう』と言う意識が強く感じられた。 ・上記の事業には小学生から大学生まで参加して頂くなど、環境衛生に対して理解が深まっている。 ・研修事業に関しては、コロナ禍にあっても学習しようという意識が高く、多くの参加者があった。			
今後の課題等	・当支部の活動は一定の成果は収めているが、活動にあたっては体力と余暇が必要なこともあり、全地区民が参加する事は不可能であるが、少しでも多くの参加者が増えるように啓発活動が求められる。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 (3)
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 (3)
	多くの住民の参加が得られましたか		1	(2) 3
	今後も事業継続できますか		1	2 (3)

(添付書類用)

令和3年度 地域創生事業助成金 実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体 藤山地区
ふれあい運動推進委員会

事業名	12	子ども110番の旗を設置する事業		
事業期間	令和3年4月～令和4年3月			
決算額	68,380 円		助成金充当額	28,780 円
事業対象者	藤山地区民		参加人数	381人
事業内容	(どのような事業を、どのように行ったか) ・月2回の街頭補導を実施し声掛け、岩鼻公園・居能駅の自転車置き場の整理整頓、駅の清掃 ・子ども110番の旗（旗竿・台）の管理			
事業目標	・新型コロナウイルス感染拡大の影響を見ながら、実施可能な事業を行う。			
	数値目標		令和3年目標	令和3年実績
	13事業		12事業	3事業
	(達成できた、又は、できなかった要因) ・街頭補導は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、個々の活動となり、団体としては活動できなかった。			
事業効果	・街頭補導の声掛けで、子ども達の安心安全に努めた。 ・無人駅（岩鼻・居能駅）の環境整備に努めた。			
今後の課題等	・現在のふれあい運動推進員は全員が仕事を持っている為、日中の活動ができないので、日中でも活動できるふれあい運動推進員を募って行きたい。			
自己評価 (3段階評価) 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか		1	2 ③
	助成金を有効に活用できましたか		1	2 ③
	多くの住民の参加が得られましたか		1	② 3
	今後も事業継続できますか		1	2 ③